**「大阪府におけるがん患者の悩みやニーズに関する実態調査」の趣旨について**

**資料１４－２**

私たちは、現在、「大阪府におけるがん患者の悩みやニーズに関する実態調査」を行っています。この説明用紙をお読みになり調査に協力されるかを自由な意思で決めてください。分からないことがあれば、どんなことでも遠慮なく担当者にお問い合わせ下さい。なお、この調査は大阪大学医学部附属病院の倫理審査委員会で審査を受け、病院長が許可した上で実施しています。調査の詳細は下記のとおりです。

**１．調査の目的**

この調査は、大阪府のがん体験者が治療を受けたり社会生活や日常生活を送ったりする上で抱えている悩みやニーズとその対応を聞き、必要としている支援を明らかにすることを目的として行います。

**２．調査方法**

調査の対象となるのは大阪府の国指定がん診療連携拠点病院に入院・通院中のがん患者さんのうち、１）年齢が20歳以上の方、２）アンケートにお答えいただく上で認知機能等に支障のない方です。同封の質問票にお答えください。ご回答が済まれましたら、ご面倒ですが同封の返信用封筒に入れて、調査票の**お受け取りから1週間以内**に投函してください。

**３．調査実施期間、目標対象者数**

　2017年1月から3月末を予定しております。また、大阪府内で4,000人の患者さんにお配りする予定です。

**４．調査にご協力いただいた際に予測される利益と不利益について**

　今回の調査では、治療を受けたり、社会生活や日常生活を送ったりする上で抱えておられる悩みやニーズとその対応をお聞きしますが、大阪府民に特化したこのような調査は行われていないため、府民の真のご意見がうかがえると考えております。調査に参加してくださった皆さまに有益な情報をもたらす可能性は低いと考えられますが、平成29年度末に策定される次期がん対策推進計画における重要な情報になります。

　調査回答には15分ほどを必要とします。調査票にお答えいただく上で、答えにくい質問や不快感を与えてしまう質問があるかもしれません。そのように感じられた場合は、無理にお答えいただかなくて構いません。答えられるところだけお答えください。

なお、もしご協力いただけない場合でも提供される診療や看護の内容には全く影響しません。

**５．個人情報の取り扱いについて**

　調査は匿名ですので個人が特定されることはありません。また、調査で得られたご回答内容はデータ化して処理します。そのデータは厳重に管理し、論文等の発表から10年間の保管期間を終えた後に、完全に破棄、消去させていただきます。

　調査で得られた結果は調査目的のみで使用し、大阪府への情報提供ならびに、学内外での公表を予定していますが、その際には個人が特定できないように配慮いたします。

**６．資金源および調査に係る利益相反**

調査や研究を行うときに、資金などの提供を受けた特定の企業に有利なようにデータを解釈することや、都合の悪いデータを無視してしまう恐れがあり、これを「利益相反」といいます。

本調査は大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻看護実践開発科学講座が、大阪府の「平成28年度がん患者状況調査実施委託事業」として委託契約して、実施します。調査の実施や報告にあたり、個人や組織の利益のために公正な判断を曲げるようなことは一切ありません。

**７．調査に関する情報公開について**

　本調査は下記のホームページ上で情報公開しています。

・大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻看護実践開発科学講座ホームページ<http://sahswww.med.osaka-u.ac.jp/~seijin/>

**８．お問い合わせ・相談窓口**

　この調査について、さらに詳しい内容をお知りになりたい場合は、他の対象者の個人情報に支障がない範囲で調査計画、方法、および、結果についての資料をみることができます。詳細につきましてのご質問、お問い合わせはいつでも応じますので下記までご連絡下さい。

貴重なお時間を頂戴することになりますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力賜りますようによろしくお願いいたします。

**責任者**：荒尾 晴惠（職位：教授）

大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻　看護実践開発科学講座

〒565-0871　大阪府吹田市山田丘１－７

①Tel&Fax: 06-6879-2542(直通)　②Tel&Fax: 06-6879-2464(直通)

E-mail：sneedsosaka@yahoo.co.jp

**分担者**：師岡 友紀（職位：講師）

大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻　看護実践開発科学講座

畠山 明子（職位：特任助教） ・　南口 陽子(職位：特任助教)

大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻　がん教育研究センター